

平成30年度  
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	田坂恒輝・越智譲二・神原律子・西原里美・相原ゆかり 越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加 松田友子・木村淳躬・川崎兼次
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画

家族さんと初期支援の段階で利用者さんの状況を一緒に考える時間を増やしていく。（家族さんも切羽詰っている状況の方が多いので心のケアも大事にしながらかかわる。）

新規利用者さんにとっては、慣れない環境での利用となるため、一人ひとりのスピードに合わせた「戸惑わない利用」ができるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

出来る限りの情報を事前に収集し、少しでも初回利用にかかるストレスや不安を軽減しながら、初期利用時の支援をすることが出来た。また、送迎時や訪問時に家族さんも交えて会話したり、コミュニケーションを取りながら、「少し疲れてそう」「最近不安が強い」「夜中が大変そうだった」等、細かな気付きを持って帰り、可能な限りサービスに反映し、対応する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	10			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	8			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	9			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	10			12

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

初回利用日までに、出来るだけの情報を情報シートや申し送りノート等を使用し、職員間で情報を共有し初回利用日から、職員がスムーズに関わりが持つ事が出来ている。来所持にはスタッフが間に入り、コミュニケーションの受け渡しを手伝ったり、利用者さんの代弁者として、少しでも不安やストレスを回避する事が出来ていた。また、家族さんに利用状況を連絡ノート等で随時報告し、安心して利用する事が出来た。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ケア内容によっては、家族さんの希望を優先したり、利用者さんの思いを優先する等、偏ってしまうことがある。利用者さんと家族さんの気持ちや思いを集約し、お互いが望むサービス内容に近付けるような支援になるまでに、時間がかかっている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

もっと利用者さんと家族さんに密に関わり、顕在化した問題だけに対応するのではなく、潜在的な悩みや不安、不満等を気軽に話し合えるような関係作りを行っていく。その中で、解決できる問題には迅速に対応し、長期に渡り解決が難しそうな問題については、適宜状況を確認しながら、少しでも不安を和らげる声掛けやサービス調整が行えるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 26 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 田坂恒輝・越智謙二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	4人	0人	12人

前回の改善計画
<p>昨年と同様、本人の輝きシートを充実させていく。本人の楽しみややりたいこと、思っていること等を会話や態度からキャッチして記入していく。輝きシートを常に活用しながら支援を行うことで、本人の本当の気持ちや思いに近づいていく。又、家族にも本人の気持ちを伝え、本人の気持ちを一緒に感じながら本人を支えて行けるような支援をしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>本人の輝きシートは、利用期間が長くなるにつれなかなか新たな強みや輝きについては見つかりにくくなっている。そんな中でも出来る事の継続や新たな出来る事や強み等の輝きの発掘や発見に努めている。利用者さんの訴えには傾聴し、その中で生まれる新たな発見を輝きシートや申し送りノート等で、引き続き職員みんなで共有できるようにしている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	6		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		10	2		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	2		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者さんひとりひとりにかかわる中で、“あれがしたい”、“これがしたい”等、本人のニーズを聴取したり、表情や口調等でしたい事を予測しながら、行事やケア内容等、出来るだけ希望に沿ったサービスが提供する事が出来ている。またその情報をカンファレンスで協議したり、申し送りノートや行事計画表等で共有する事が出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用期間が長くなっていくと、輝きシートの記入が減ってきています。会話の中で細かく確認したり、色々問いかけてみても、返答が無い方については、職員本位の内容となってしまっている事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>輝きシートについても、出来るだけ見直しながら内容に変化があった場合には毎月のミーティング等でも共有し、活用の場を定期的に設けていくようにする。今までみんなが個々に記入した輝きシートの内容についても、ミーティングやカンファレンスで改めて共有し、必要があれば修正や追加していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月26日（9:00～11:00）

3. 日常生活の支援

メンバー 田坂恒輝・越智謙二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	10人	1人	人	12人

前回の改善計画	日常生活において出来ることと出来ない事があるが、出来ていたことが出来なくなってきた時、どこまでだったら一緒に出来るか、また、本人の気持ちを確認し、スタッフで情報共有しながら、本人が無理なく持っている力を発揮できるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	どうしても加齢に伴う身体的変化や認知症状の進行、生活環境の変化などにより、出来る事が少しずつ減ってきている中でも、“これだったら出来る”という事を探しながら、出来た時の達成感や充実感を少しでも味わってもらえるように声掛けや誘導して行く事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	5	6		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	9			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	7	3		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	8			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	9	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出来ていたことが出来なくなった時、直ぐにあきらめないで、どこが出来てどこが出来ないのかを確認しながら、今まで出来ていた事が継続できるようにしている。出来なくなった事でも、何か代替となる事を探したり、新たに出来る事を発見しながら、日常生活に張りを持って、楽しく意欲的に過ごして頂けるよう支援させて頂いている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
中には出来なくなった事を、もう無理だろうと家族さんも一緒にあきらめがちになってしまったり、一律した支援になってしまっていた事もあった。本当の利用者さんの気持ちや出来る事・出来ない事を決めつけたケア内容になっていたこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用期間が長くなった利用者さんや、徐々に身体機能の低下している方、認知症状が進行している方について「歳だから」、「病気だから」「仕方がない」と決めつけないで、新たな可能性を常日頃から探し続けられるようにしたい。輝きシート同様に出来る事をどのように継続していくのかを、カンファレンスの中でも検討していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 26 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田坂恒輝・越智譲二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原直矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6 人	6 人	人	12 人

前回の改善計画
一人暮らしの利用者さんの家族が帰省された時は、事業所のフロアで利用者・家族・スタッフが一緒になって、お茶を飲んだり話をしたりして一緒に過ごす時間を作っていく。そうすることで普段は離れていても、身近な関係になれるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
家族さんが面会等で来所頂いた時には、少し他利用者さんと離れた場所で家族さんと一緒に会話したり、一緒に過ごす時間を作る事が出来た。中には仕事や用事等で短時間の面会となる方もいらっしゃるが、2ヶ月に1回発行しているお便りや、家族さんも一緒にお誘いするお祭りやクリスマス会等へ参加頂き、一緒に過ごす時間を作っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	5		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	7		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	5		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別にサロン活動へ参加を支援したり、地域行事には出来るだけ参加し、少しでも地域の一員である事を自覚して頂いたり、逆に地域の方が避難訓練やお祭り等の時、来所され一緒に協力頂く等の交流事業も行っている。また冠婚葬祭や家族間での行事へも可能な限り参加のお手伝いをさせて頂いている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域行事への参加については、個別に参加の意向は確認するが、“どちらでもいい”と言われる方については楽しいだろうと勝手な判断で同行頂いている場合も多い。また遠方の家族さんとの関わりが少なく、来所された時等の声掛けが難しく感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
まずは利用者さん本人にとっての“地域”の範囲や重要性等を再確認し、参加や見学に行きたいと思う気持ちに沿った支援が出来るようにする。逆に無理に仕方なくと無理強いせず、昔のつながりや利用者さん本人の性格や人間関係等も考慮しながら、今まで行っていた地域との付き合いを継続出来るように、地域の方々とも関わりが持てるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月26日（9:00～11:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田坂恒輝・越智譲二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	4人	1人	12人

前回の改善計画  
前回同様、現状を維持しながらニーズに合わせて一人ひとりに柔軟な対応を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
なかなか潜在的なニーズを見極める事が難しく、目に見えるニーズについては迅速に柔軟に対応する事は出来たが、実は“こうしなかった”、“ああしなかった”との声も聞こえる事があった。もう少し利用者さん本人と家族さんの潜在的なニーズを確認出来るような関係作りが必要だと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	7	3	1	12
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	5	5		12
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		5	7		12
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	6	5		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者さんの生活環境や今までの生活状況を考慮し、出来るサービスの調整を行う事は出来た。柔軟に本人や家族の希望に合わせ調整したり、時に優先順位を確認しながら、他利用者さんにも可能な限り予定変更をして頂いたりみんなで協力し合いながらサービスの調整を行う事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
通いや泊りの回数や時間帯など、つつい家族の意向に流されてしまい、本人の意向を確認する事が出来ない時がある。また、本人や家族が体調不良の時や、用事があった時、いざという時の対応が柔軟にできない事がある。利用回数等については、生活状況や介護状況に合わせて調整しているが、介護度別にみると偏りがある事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
引き続き、利用者さん本人の意向を基本に、生活状況や介護状況を常に確認しながら、必要なサービスを必要な量だけ、いざという時には迅速に対応できるような体制を常に確保していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月26日（9:00～11:00）

6. 連携・協働

メンバー 田坂恒輝・越智謙二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	7人	人	人	12人

前回の改善計画	毎年実施している地域との合同消防訓練に案内し参加して頂くことで、事業所の取組みをもっと知ってもらおう。事業所が大事にしている「三人四脚」（どんな時も利用者・家族・スタッフが共に）に近づけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	消火避難訓練への参加は、時間やタイミングが合わず、参加頂く事は難しかった。在宅生活において困ったことに対しては、スタッフみんなで相談し合い、色々な対応を検討しながら、家族へ知らせ、最終的には利用者さん・家族さんにサービス内容について決定して頂く等、利用者・家族・スタッフが「三人四脚」となった関わりが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	5	3		12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3	5	2	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	7	2		12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	5	3	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
定期的開催されている地域ケア会議には必ず参加している。毎年定期的に近隣の方々や民生児童委員さん、地元消防団の方々にも協力頂き、消火避難訓練を実施しています。行事でも夏祭りや元気ふれあいフェスタ等で地域の方々に自由に施設内を見学頂いたり、普段からインターネットやパンフレットで見学案内を行い、地域の方々に知って頂けるような働きかけを行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
まだまだ事業所を知らない方も多く、入所施設と勘違いして申込みに来られる方も多。他サービス機関との会議や地域ケア会議等、ケアマネや管理者が参加し、協議した内容についてはミーティング等で報告しているが、他スタッフは参加した実績がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
もっと気軽に足を運んでもらえるよう、引き続き地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。 今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 26 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

7. 運営

メンバー 田坂恒輝・越智譲二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	2人	1人	12人

前回の改善計画	地域で色々な活動をしている人(得意技を持っている人や、保健師さんや交通安全協会さんや趣味の活動をされている方)に声をかけて事業所の交流を増やし、開かれた事業所にしていく。その時に意見なども頂き、より良い事業所を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	演奏や踊り等、色々な趣味や特技を生かし活動をしている方々が、事業所を訪れ交流の機会がある。恒例となり来てくれる方もおり、将来自分が利用するようになった時の事を想定して、色々なご意見を頂く事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	4		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10			12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		11	1		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		10	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員それぞれに思いや考え方はあるが、不安な時には相談し合い、相談し合いながら事業所としての方向性を統一出来ている。色々な方々の協力の元、行事開催や問題解決も行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特に利用者・家族・地域の方々からの苦情や意見等無く、出来る限り意見に対しては迅速に対応できる体制は整えている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き、誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所である様、機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用し、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 26 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田坂恒輝・越智謙二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	3人	人	12人

**前回の改善計画**  
 前回の改善計画は、自己評価ではできているつもりであっても、ほんの些細なことでもリスクとして受け止めることができたのかを振り返ると、できていないという反省に至ったため、もう一度同じ計画とする。ほんの些細なことでもリスクにつながると感じたことは、簡単ヒヤリハットを記入していく。日常のケアの現場にはいろんなリスクが潜んでいる。スタッフ全員が、それを予見しながら支援することで事故を未然に防いでいく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 些細な事でも簡単ハットに記録し、当月のミーティングや随時回覧できるように記録し、防止策について検討している。記録については内容を簡素化する事で、書き易く気軽に書ける事から、未然に予防できた内容だけでなく、今後可能性として危険と思われる内容まで検討する事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	7	2		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	5	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	5	1	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	4		12

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 研修では、事前にスタッフに学びたい内容を確認し、内容に合う参加したい研修に参加しています。研修で学んだ事をミーティングでスタッフみんなに報告し、周知徹底する事を基本にしています。また、事業所内部研修も定期的実施し、より深めたい内容の研修を行い、参加しています。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域連絡会等については開催されておらず、参加の実績が無い。地域ケア会議などには参加し、地域の現状や課題について相談する機会はあるが、スタッフで共有する機会が少ない。研修においても、勤務や時間の都合でなかなか積極的な参加が出来ていない。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 介護の現場で苦手とする内容や不得手な技術等について、自己で再確認しつつ、研修を通じてスキルアップが出来るように、今一度確認を行う。引き続き、ヒヤリハットや簡単ハットについて、気になった事は記入し、毎月のミーティングで検討し、利用者さん個々のリスク管理を徹底して行き、安全に安心して過ごして頂けるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月26日(9:00~11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 田坂恒輝・越智謙二・神原律子・西原里美・相原ゆかり  
越智多恵子・村上かおり・藤原亜矢・矢野美佐加  
松田友子・木村淳躬・川崎兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	2人	人	12人

前回の改善計画
トイレの利用方法に関して、もう少しプライベート空間を意識した支援方法を見つけていく。以前に使用中の札を作って対応していたが、上手いかなかった。もっとわかりやすいしくみを考えてプライバシーが守られるトイレ環境を整えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
フロアのスタッフが随時トイレに入っている利用者さんを把握しながら、トイレが混んだりした時にはスムーズに利用できるよう対応が出来た。間に合わない時には隣のグループホームのトイレも借りながら、完璧とまでは行かないが、プライバシーの確保が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4			12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	6	6			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	2	1	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	4			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	定期的に身体拘束・虐待防止に対する研修に参加し、知識と技術を身に付け、利用者さん・家族さんのプライバシーの確保について徹底して行う事が出来ている。身体拘束・虐待ゼロに向けて、併設のグループホームで行われている、「身体的拘束等適正化のための対策検討委員会」へ一緒に参加し、第三者からの評価や助言をもらっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	普段の声掛けや、対人関係が少し慣れてくると、言葉遣いが友達言葉になってしまったり、ちゃん付けや愛称で呼ぶ等の対応が見られていた。必要な場合成年後見制度や福祉サービス利用援助事業など、権利擁護にかかわるサービスの利用について、迅速に該当者について見極め、何らかの対応を行う事が出来るように、必要な知識や技術が必要である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	親近感と信頼感を間違えないように、利用者さん・家族さんに対する言葉遣いや対応について、常に介護事業所職員として、わきまえた言葉がけや対応を心がけ、安心してサービスが利用できるようにする。また親身に寄り添える距離を保ちながら、困ったに直ぐ対応できるようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	田坂 恒輝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	3人	1人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・なし	・スタッフみんなで行った個々の自己評価を元に、ミーティングで各項目について話し合い、みんなの意見を事業所評価として集約し、事業所評価を完成する事が出来ました。	・スタッフひとりひとりの解釈の違いが、ひとつひとつの項目について良く話し合い、みんなの意見をまとめて事業所評価が出来ていた。 ・地域のかかわりシートの内容が分かりにくく判断に迷う箇所があった。	・地域のかかわりシートで、判断に迷う箇所があり、“分からない”という回答があった為、事前にその迷う箇所を重点的に説明し、回答に迷わない様にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・来所された方にアンケート調査を行い、事業所のしつらえや環境に対する意見を頂き、よりよい環境づくりに努める。	・イベントや見学に来られた方に、事業所の雰囲気や感じたことを確認しながら率直な意見を頂く事が出来た。	・運営推進会議の参加者と一緒に定期的に事業所を訪れたり、運営推進会議の会場を事業所内で行う事で、率直な意見が聞けると思います。	・来所者には引き続きアンケート調査を実施したり、定期的に家族にもお願いし、率直な意見を確認しながら頂いた意見を見直し、随時改善していく。運営推進会議を利用し、もっと事業所を見て頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所のことをもっと知ってもらえるように、事業所に地域の方が来てくれるような工夫をしていく。	・「夏祭り」や「元氣ふれあいフェスタ」、「避難訓練」等を利用し、自由に見学して頂いたり、支部便り等へ事業所の様子分かるように記事を掲載し、少しでも地域の方々へ事業所を知って頂けるよう対応した。	・自由に見学や問い合わせが出来る様にしているが、なかなか気軽に訪れにくい雰囲気があるのか利用に向けての見学や申込みでの来所がほとんどである為、気軽に誰でも訪れる事が出来るような工夫が必要だと思う。	・住み慣れた地域でのサロンや集会、行事やイベントに利用者さん本人の意向を確認しながら参加し、地域の方々や本人・スタッフを含めて交流を持つ事で、事業所を知って頂く機会を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者さんが生きてきた背景を大切にしながら、繋がりがある人とこれからも繋がりながら生き生きと暮らして頂けるような取組みを行っていく。	・地元のサロンへ参加したり、各地域でのお祭りや行事、イベントにも積極的に参加する事が出来た。季節に応じて変化する住み慣れた地域を見て感じてもらいながら、まだまだ地域の一員であると感じて頂けるような関わりが出来た。	・色々企画し、地域の行事やイベントに積極的に参加できています。利用者さんひとりひとりが、住み慣れた地域の中の一員として、参加していると感じる事が出来るようにする。	・ひとりひとりの利用者さんにとって、住み慣れた地域での役割や居場所等と関わりが持てる様に、スタッフも地域の方々や積極的に関わっていく。地元で開催されているサロンや行事、本人の意向を確認しながら、希望する所へは自由に参加できる環境を作っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ボランティアの方や家族の方などにも参加していただき、日頃感じていることを会議の中で話し合い改善につなげていく。	・ボランティアの方々の参加は難しかったが、地元駐在所の警察の方に来て頂き、防犯や最近の詐欺の手口、気を付ける事等についての話を頂いた。	・いつも利用者さんの状況報告が主になっている為、会の進行が一律となっている。もっと皆さんの意見を頂きながら、有意義な会の進行が出来る様にする。	・福祉関係者以外の有識者や引き続きボランティアの方々等に参加頂いたり、メンバーの方からも運営推進会議のあり方について相談し、有意義な会の進行が出来る様にする。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災計画の説明を行い、予測される状況に応じた対応策を一緒に考えていく。	・豪雨災害に伴う被害報告や対応について説明し、意見を頂く事が出来た。また、毎年6月第一土曜日の地域合同消火避難訓練については可能な限り参加して頂く事が出来た。	・消火避難訓練だけでなく、地震や台風、豪雨による災害を想定した訓練も必要です。色々な災害や被害を想定しての訓練を繰り返し実施する事が、ひとりひとりの命を守る事につながると思います。	・まずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消火避難訓練には参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様に可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。